

【基本施策4】 区民が主体的に参画し、コミュニティ形成につながる地域スポーツ環境の整備

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
25	【重点事業】総合型地域スポーツクラブの設立		
事業概要	多世代・多種目・多志向の特徴をもった、地域住民による自主的、主体的に運営されるスポーツクラブを全地区設立する。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	C:計画目標を一部達成した
令和元年度実績	・東京都主催の総合型地域スポーツクラブ行政担当者連絡協議会と育成セミナーに、区職員が2名参加し、総合型地域スポーツクラブについての理解を深めた。		
評価の理由	・総合型地域スポーツクラブの全地区展開に向けて、行政担当者連絡協議会と育成セミナーに参加したが、具体的な設立時期等については、まだ十分に検討が必要である。		
課題など	・総合型地域スポーツクラブの設立に当たっては、活動の場の確保、人材・スタッフの確保、設立に係る資金の確保等の課題がある。これらの課題の解決については、今後改めて検討を進めていく必要がある。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
26	モデル事業に対する支援		
事業概要	スポルテ目黒の活動を区のモデル事業として、活動の場の提供、その他を通じてその活動を支援する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	B:計画目標を達成した
令和元年度実績	①日常活動の場の提供 碑文谷体育館・庭球場・野球場、南部地区プール、 五本木小学校体育館、中央地区プール、鷹番小学校体育館 ②クラブハウスの提供 ③HP活動支援、クラブ運営への助言指導 ④会員数の拡大 906人(令和2年3月31日現在) ⑤各体育館において、スポルテ目黒のチラシ、案内設置など、活動の支援を行った。		
評価の理由	・場の提供、活動支援等を継続して行った結果、区民のスポーツ機会の拡大が図られ、延べ参加人数、会員数とも安定した数値となっている。		
課題など	・スポルテ目黒を運営していくに当たって、次世代の人材確保が課題であり、支援のあり方については引き続き検討していくとともに、今後総合型地域スポーツクラブを他地区へ展開していくに当たって、モデル事業として運用してきたノウハウをどのようにフィードバックさせていくかが課題である。		

		所属名	生涯学習課
事業No.	事業名		
27	申請社会教育学級の実施		
事業概要	区内の社会教育関係団体が行う自主的かつ系統的学習について、団体の申請に基づき、申請社会教育学級に指導者を派遣し、団体が行う社会教育活動の発展を図る。結成後5年未満の団体と教育委員会が定める課題について学習する団体の学習計画に基づき、1学級について6回を限度として指導者を派遣する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	C: 計画目標を一部達成した
令和元年度実績	結成後5年未満の団体6団体(延べ参加者703人)、課題学習団体1団体(延べ参加者105人)に指導者を派遣した。(内スポーツ団体は0団体)		
評価の理由	申請団体数が年々減少している。		
課題など	より多くの団体に申請していただけるよう、さらなる周知が必要である。		

		所属名	生涯学習課
事業No.	事業名		
28	社会教育館まつりの実施		
事業概要	団体の学習成果の発表の場、団体間の交流・親睦の場、地域との交流の場として実施する。利用団体が1年間の学習の成果を展示・発表する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	C: 計画目標を一部達成した
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・東山社会教育館(31団体参加。うちスポーツ団体は5団体) ・中央町社会教育館(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ・目黒本町社会教育館(30団体参加。うちスポーツ団体は7団体) ・緑が丘文化会館(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ・青少年プラザ(33団体参加。うちスポーツ団体は9団体) 		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育館等を利用する団体は、館まつりを日頃の学習成果を広く地域に発表できる目標として活動しており、地域の区民も毎年楽しみにしている。地域の区民が参加し、コミュニティ形成につながるお祭りとして評価できる。 ・新型コロナウイルス感染症により館まつりを開催できない館があった。 		
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・企画・運営は実行委員会が中心となって行っているが、新たに委員となる人材を増やすことが課題である。 ・新型コロナウイルス感染症により今年度館まつりを開催できるかが課題である。 		

		所属名	オリンピック・パラリンピック推進課
事業No.	事業名		
29	【重点事業】めぐろ10kmマラソン(仮称)大会の実施		
事業概要	「めぐろ桜健康マラソン」を発展・充実させることにより、区内の観光と産業の活性化など地域活力の向上を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運醸成と区民の健康増進を目的にマラソン大会を実施する。実施にあたり関係団体等による組織委員会を設立し、企画・運営を行う。		
計画目標	新規	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	A:計画目標を上回って達成した
令和元年度実績	令和元年11月24日(日)に第4回大会を開催した。 種目・参加者数:10kmの部 2,685人 2.5kmミニマラソン小学生の部 144人、中学生以上の部 84人、親子ペアの部 126組 1kmウオーキング 72人		
評価の理由	大会当日は区内外からランナー・ボランティア・沿道の応援含め、6千名を超える人が参加し、参加者やボランティア、関係者等からも継続して高い評価を得ることができた。また、前年度から引き続き区内企業、団体等と連携し「おもてなし」企画を実施・拡大することができた。さらに、大会当日、都市整備部署と連携して、目黒川舟入場を会場に「ナカメスポーツフェス」を同時開催することで参加者の周遊等、地域活性を図ることができた。		
課題など	安全安心を第一に引き続きランナーサービスの充実と、住民の生活への影響を最小限にできるよう努めていく。また、新たに連携を図ることとなった目黒川舟入場のイベントについてマラソン大会会場内で実施される協賛企業によるブース出展との兼ね合いも考えながら今後の協力内容を詰めていく必要がある。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
30	体育祭の充実		
事業概要	広く区民に総合的なスポーツの機会を提供するとともに健康維持増進及びスポーツを通じたコミュニティの形成に寄与することを目的に目黒区体育祭を実施する。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	B:計画目標を達成した
令和元年度実績	37競技大会を(春・秋・冬)開催し、広く区民のスポーツの推進と健康維持増進を図った。 <春季大会>・種目:33種 ・延べ日数:86日 ・参加者数:7,454人 <秋季・冬期大会>・種目:31種 ・延べ日数:68日 ・参加者数:6,200人		
評価の理由	・関係団体と連携し、少しでも多くの区民が参加できるよう競技大会の日程を調整し、区民が体育祭に参加する機会を提供することができた。		
課題など	・体育施設の老朽化が進んでおり、大会を実施するうえで設備の改善を図るとともに関係団体との連携を強化し、体育祭の円滑な運営に努める必要がある。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
31	実行委員会等、多様な区民や団体の主体的な関わりによるスポーツ事業の実施		
事業概要	スポーツ・レクリエーション事業(めぐろスポーツまつり、ウォーキング事業、ラジオ体操、スポーツ広場等)の実施にあたり、実行委員会等、多様な区民が参画できるよう配慮し、関係団体との連携・強化を図る。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	B:計画目標を達成した
令和元年度実績	①第19回めぐろスポーツまつり(延べ 1,071名) ②ウォーキング事業 ③ラジオ体操 ④地区スポーツ大会 ⑤中央体育館リニューアル記念スポーツフェスティバル(新型コロナウイルス感染拡大のため中止)		
評価の理由	・毎年体育の日に、目黒区民を対象に、子どもから高齢者、障害のある方まで誰もが参加できるめぐろスポーツまつりを開催している。令和元年度は、オリンピック・パラリンピック正式種目のラグビーをアトラクション及び体験教室として実施し、競技の魅力を伝え、楽しめるイベントとなった。		
課題など	・より多くの区民に参加してもらうため、誰でも気楽に参加できるニュースポーツを中心とした種目を選定すると同時にオリンピック・パラリンピックの種目をアトラクションや体験教室として実施することで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成を図っていく必要がある。 ・引き続き実行委員会等に多様な区民が参画できるよう工夫を凝らし、関係団体との連携・強化を図りつつ、より充実したスポーツ・レクリエーション事業を実施する必要がある。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
32	スポーツ・レクリエーション活動における指導者の発掘・育成		
事業概要	区民のスポーツ・レクリエーション活動をより効果的・円滑に推進するために、指導者育成事業を実施する。 ①スポーツ指導者育成事業 ・スポーツ推進委員研修会 ・指導者養成講習会(スポーツセミナー) ・障がい者スポーツ指導員養成研修(公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認) ・水上安全法救助員養成講習会 ②スポーツボランティアの発掘と育成 区立体育施設などでボランティア活動を促し、活動が定着するよう育成を図る。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	C:計画目標を一部達成した
令和元年度実績	区民のスポーツ・レクリエーション活動をより効果的・円滑に推進するために、指導者育成事業を実施した。 ・スポーツ推進委員広域地区別研修会「第3ブロック」(8月)に22名が参加し、基調講演と実技研修を実施した。 ・障害者スポーツ指導員(初級)養成講習会 : 実施日数4日(18時間)、受講者数 26人 ・日本赤十字水上安全法基礎講習会 : 実施日数 5日、受講者数 19人 ・スポーツセミナー : 実施日数 1日(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)		

評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年スポーツ推進委員全体研修会、障がい者スポーツ指導員(初級)講習会、水上安全法基礎講習会、スポーツセミナー等を実施している。 ・令和元年度については、スポーツセミナーは新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした。
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツボランティアの登録者数がまだ少ないため、指導者養成講習修了者などを対象に制度についての周知を図るとともに、登録者の有効活用を、指定管理者などとも協議して、登録者数を増やす検討をしていく必要がある。

		所属名	文化・交流課
事業No.	事業名		
33	阿武隈リバーサイドマラソン大会への参加		
事業概要	マラソン大会に区民が参加することで、友好都市の角田市を知ってもらい友好交流関係の推進を図るとともに、区民のスポーツ活動の促進及び健康増進を図る。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	D:計画目標を達成していない
令和元年度実績	台風19号の影響により、角田市が甚大な被害を受けたため、大会が中止となった。		
評価の理由	大会中止となったため、一般社団法人めぐろ観光まちづくり協会が主催している参加ツアーも中止となったため。		
課題など	令和2年度についても、新型コロナウイルスの影響により大会中止が決定している。次年度以降、通常開催ができるようになることをまずは期待したい。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
34	利用者懇談会の実施		
事業概要	利用者等の意見・要望を把握し、区民サービスの向上を図るため実施する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	C:計画目標を一部達成した
令和元年度実績	駒場体育館 ・年1回実施 区民センター体育館 ・年1回実施(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) 碑文谷体育館 ・一般公開 1回実施(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ・教室・講習会 1回実施(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) 中央体育館 ・教室 10教室 計24回実施 八雲体育館 ・年1回実施 砧野球場・サッカー場 ・年1回実施		

評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 各施設で、一般公開、教室事業等の利用者を対象に懇談会を実施し、利用者からの意見・要望を取り込むことで利用者数の増大につなげるとともに、今後の課題について整理している。 令和元年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設によっては中止とした。
課題など	<ul style="list-style-type: none"> 利用者懇談会で出された意見・要望について、全てのものが対応可能ではないが、今後の課題として検討していく必要がある。

		所属名	スポーツ振興課 オリンピック・パラリンピック推進課
事業No.	事業名		
35	区関係部局と連携した事業の実施		
事業概要	まちづくりや青少年健全育成など、相乗効果を得られるように配慮するため、区関係部局と連携したスポーツ事業を実施する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	B:計画目標を達成した
令和元年度 実績	<p>①東京2020大会機運醸成イベントの実施 <体験、参加型イベント> ・八雲こどもスポーツDAY(八雲体育館):VR車いすレース・第56回目黒区商工まつり(産業経済・消費生活課):ボルダリング ・第43回目黒区民まつり(文化・交流課):車いすテニス、ボッチャ・第10回ティーンズ・フェスタ(区内児童館):VRフェンシング ・目黒区成人の日のつどい(生涯学習課):フラッグツアー <パネル展> ・あじさい祭り(東が丘障害福祉施設)・第15回MIFA国際交流フェスティバル(目黒区国際交流協会)</p> <p>②指定管理者事業 <駒場体育館> ・みんなでダンス(障害者施設あゆみ園、えのき園) <区民センター体育館> ・目黒区商工まつり「目黒リバーサイドフェスティバル」(産業経済・消費生活課)にて足型測定を行った。測定者数126人 ・目黒シティランに向けたランニングクリニック開催 1事業50人 <碑文谷体育館> ・交流機会事業でスポルテ目黒、碑文谷公園くらぶ、目黒区体指・スポ進OB会、目黒区スポーツ推進委員協議会、住区住民会議等地域団体の協力を得て実施。 ・区内情緒障害通級学級と連携を図り障害者対象のスポーツ教室の実施。 <中央体育館> ・スポーツ広場で住区住民会議と目黒区スポーツ推進委員協議会の協力により実施(大規模改修工事中のため実施せず) <八雲体育館> ・ほたる祭りや敬老の日イベントで地域で構成する実行委員会、西部包括支援センターの協力を得て実施した。 <砧野球場・砧サッカー場> ・ふれあいスポーツ教室、ふれあいスポーツ広場を実施。(区内障害者施設主催)(管理事務所改築工事のため中止)</p>		
評価の理由	<p>①区内の様々なイベントにおいて、オリンピック・パラリンピックの競技体験を実施することで、普段スポーツに触れる機会がない方にも興味関心を持ってもらうきっかけづくりができた。また、実際に競技で使用する器具などに触れてもらうことで競技に対する知識を深めてもらうことができた。</p> <p>②地域における区関係部局との関係性を密にして各体育館で事業を実施していることにより、相互理解が深まり、各体育館が地域の構成員としての役割も果たしている。</p>		
課題など	<p>①東京2020大会開催に向け、引き続き多くの方がオリンピック・パラリンピックに触れる機会を提供し、パネル展で見ただけでなく実際に体験してもらう事業を展開していく。</p> <p>②地域との関係性を増し、より地域と一体となった体育館の運営をしていくため、区関係部局のみならず、新たな地域団体との連携を開拓していく必要がある。</p>		